

Singapore Fintech Festival

2025 イベントレポート

テーマ：「次の10年の成長を形作る（Shaping the Next Decade of Growth）」 現地で見た主要トレンド

開催概要：SFF 2025

10周年の節目

SFF 2025は10周年という記念すべき年を迎え、世界中から「金融の未来の青写真」を描くために多くの参加者が集まりました。



参加者数：70,000人以上



参加国・地域：142カ国



キーワード：テクノロジーの実装



2025年を決定づける 主要トレンド

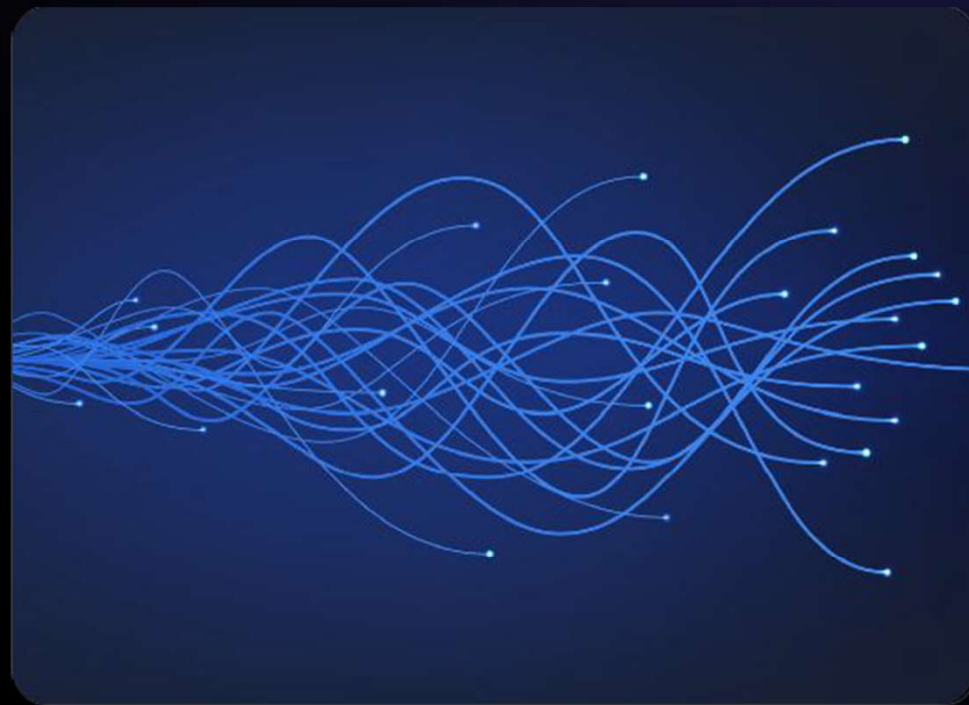


「実験」フェーズから「社会実装（Commercialization）」へ

1. AIの進化：「生成」から「自律」へ

議論の中心はコンテンツ生成から、複雑なタスクを完遂する能力へと移行しました。

- ✓ **Agentic AI（自律型AI）**: 質問に答えるだけでなく、自律的に推論・計画・実行を行うシステムの実装。
- ✓ **Small Language Models (SLMs)**: 金融機関向けに最適化された、効率的かつ安全な小規模モデルへのシフト。
- ✓ **ガバナンスの強化**: MASと英国FCAが、金融AIの安全性枠組みに関する新たなパートナーシップを発表。



2. 未来のインフラ基盤に関する議論



量子技術への備え

「Y2Q（量子の脅威）」への対応。金融システムにおける量子耐性暗号の実装が、MASおよび主要銀行の緊急課題として浮上

。



Project Guardian

PoCから商用化へ。SCB、HSBC、UBSなどの大手金融機関が、債券やファンドのトークン化を実運用フェーズへ移行。



クロスボーダー連携

ASEAN統合の加速。カンボジア-シンガポールのQR決済連携など、実需に基づいたインフラ接続が進展。

3. ステ이블コイン：日常利用へ

加盟店・旅行者決済への浸透

2025年は、ステ이블コインが一般消費者の生活に入り込む元年となりました。

- ✓ **Grab x StraitsX:** スーパーアプリGrabにWeb3ウォレットを統合。XSGD（シンガポールドル連動）での支払いが可能に。
- ✓ **Project BLOOM:** タイKBankとの連携。旅行者が自国の銀行アプリを使い、裏側でステ이블コインを用いたQR決済を実現。
- ✓ **インフラ整備:** FireblocksやPaxosが、銀行向けのステ이블コイン発行・管理基盤の実用化を推進。



4. Japan Pavilion : 日本の存在感を発信

オールジャパン体制での共同出展（Hall 5）

Fintech協会は、東京都、大阪府・市、福岡県、札幌市、JETRO、TOPPANエッジと共に「Japan Pavilion」を出展しました。

✓

ピッチスペース: パビリオンエリアに、日本のエコシステムを発信できるピッチスペースを新設。

✓

来場者の関心: 海外参加者からは「クロスボーダー決済」「KYC/AML」「Web3」関連のソリューション及び規制に高い関心。

✓

発信活動: 各都市や金融庁によるピッチを実施し、日本の規制環境やスタートアップ支援策を世界へアピール。



グローバルイベント報告会（12月15日開催予定）

**グローバルイベント
報告会2025**

Singapore Fintech Festivalほか
海外フィンテックイベントから

12.15(Mon.)18:00-20:00
開催場所：FINOLABイベントスペース



**FINTECH ASSOCIATION
OF JAPAN** **【FAJ & FINOLAB共催/会員限定】** **FINOLAB**
THE FINTECH CENTER OF TOKYO



お申し込みはこちらから

グローバルイベント報告会 2025

Singapore Fintech Festivalのみならず、Fintech Taipei、Hong Kong Fintech Week、Fintech SURGE in Dubaiなどに実際に参加された方々からイベントの様子、各地でのFintechの最新動向を報告して頂き、今後の国際連携や事業展開のヒントを探ります

 **会場：**FINOLABイベントスペース

 **日時：**12月15日 18:00 - 20:00 (JST)